

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 7 年 4 月 14 日(2025.4.14)

【国際公開番号】WO2023/276751

【出願番号】特願 2023-531816(P2023-531816)

【国際特許分類】

F 2 1 S 43/50(2018.01)

F 2 1 S 43/14(2018.01)

F 2 1 W103/45(2018.01)

F 2 1 Y115/10(2016.01)

F 2 1 Y115/30(2016.01)

F 2 1 W103/15(2018.01)

10

【F I】

F 2 1 S 43/50

F 2 1 S 43/14

F 2 1 W103:45

F 2 1 Y115:10

F 2 1 Y115:30

F 2 1 W103:15

20

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 4 月 4 日(2025.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

発光部を有する第一ユニットと、

光源と、前記発光部とは異なる形状のレンズ部を有する第二ユニットと、

開口部を有する遮蔽部であって、前記遮蔽部の裏側に設けられた部材を外部から遮蔽する遮蔽部と、を備えるランプユニットであって、

前記第一ユニットは、正面視で前記ランプユニットの外部から前記発光部を視認することができる位置に配置されており、

前記第二ユニットの前記レンズ部は、前記遮蔽部の裏側または前記開口部の中に配置されており、

前記第二ユニットの前記レンズ部の少なくとも一部は正面視で見えない位置に設けられ、前記光源から出射された光は前記遮蔽部に設けられた前記開口部を介して前方に投射される、ランプユニット。

40

【請求項 2】

前記発光部は、前記ランプユニットの長手方向に延びる偏平形状であり、

前記開口部も、前記長手方向に延びる偏平形状である、請求項 1 に記載のランプユニット。

【請求項 3】

前記レンズ部は複数のレンズを含み、

前記複数のレンズの配列方向と前記開口部の長手方向とが一致している、請求項 1 または請求項 2 に記載のランプユニット。

【請求項 4】

50

前記第二ユニットは、前記ランプユニットから水平方向に延びる軸に対して5度以上下方に傾斜した領域に光を照射する、請求項1または請求項2に記載のランプユニット。

【請求項5】

前記レンズ部は正面視で矩形状である、請求項1または請求項2に記載のランプユニット。

【請求項6】

前記レンズ部は、第一面と、前記第一面とは反対側の面である第二面と、を有し、

前記第一面は、前記第二面よりも前記遮蔽部に近い位置に配置されており、

前記第一面における第一曲率は、前記第二面における第二曲率よりも小さい、請求項1または請求項2に記載のランプユニット。

10

【請求項7】

前記遮蔽部は、前記ランプユニットの長手方向において所定の長さを有する少なくとも一つの板状部を有しており、

前記板状部は、水平方向に傾斜して配置されており、

前記板状部の前記水平方向に対する傾斜角度である第一角度は、前記光源から出射される光の光軸と前記水平方向とのなす角である第二角度よりも小さい、請求項1または請求項2に記載のランプユニット。

20

30

40

50